

2025年11月14日

南海電気鉄道株式会社

大阪府と協働で長年にわたり森づくりを実施！
自然共生サイトの支援証明を初取得

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行）は、大阪府の「堺第7－3区 共生の森」（大阪府堺市1，091，000㎡）（以下「共生の森」）での森づくり活動を15年以上にわたり支援したことを、環境省により認定され、2025年11月7日付で「自然共生サイト(注1)に係る支援証明書」を受けました。なお、「自然共生サイトに係る支援証明書制度」の本格運用後、初の取得者となります。

当社は、大阪府の生物多様性の取り組みに賛同し、２００９年に大阪府と「グリーンパートナー協定」を締結し、長年にわたり共生の森での植樹祭の苗木などの寄附(注２)および植樹・下草刈り活動に参加し、共生の森での約２万本の植樹と森林エリア６４，９００㎡の拡大に貢献してきました。

長年の活動で森林エリアが十分に拡大したことから、生態系の創出から維持に移行し、2025年3月からは育樹祭などの活動で大阪府と協働しています。森林エリア拡大によるCO₂吸収量は年間55.5トン(注3)となり、地球温暖化対策にも貢献しています。

また、２０２５年４月施行の地域生物多様性増進法に基づき、日本ビオトープ管理士会 近畿支部・大阪府・岬町・大阪府立環境農林水産総合研究所と当社の５者の多奈川ビオトープでの活動が、環境大臣・農林水産大臣・国土交通大臣により認められ、２０２５年９月に自然共生サイトとして認定されましたので、併せてお知らせいたします。

当社は、生物多様性保全の取り組みにより、今後も地球環境保全に貢献していきます。

(注1)自然共生サイトとは、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として国が認定した場所

(注2)株主さまからご返送いただいた株主優待6回乗車カード1枚につき苗木3本分相当額を寄付

(注3)都市公園に準じた計算式で算定。※出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書 2024 年」を基に算出

環境省 Ministry of Environment		証明書番号Z51-010	
自然共生サイトに係る支援証明書			
南海電気鉄道株式会社 様			
支援サイト情報	サイト名称： 堺第7・3区 共生の森 サイト所在地： 大阪府堺市 サイト責任者： 大阪府		
	☒ 維持タイプ ☐ 開設タイプ ☐ 閉出タイプ		
支援内容に係る情報	支援数： 1つ	※複数支援の場合、2枚目以降に記載	
支援に係る 担当部署 インプット アクティビティ	共生の森づくり事業（継続約2万㎡・緑化活動・計画管理など） 香典料募集：生態園の「公園利用の基金（共生の森づくり基金）」に2,373万円を拠出した（前年度：10年7月～3年度：10年7月） 市民の関心：堺第7・3区 共生の森の樹種・下木等に関する合計21人回答		
支援実施日 （支援期間）	継続実施中：2018年度～2020年度の年間 人的実施：2018年度～2020年度の計7月～9月の下半期および2019・21年度の前期 ※人的実施は、このアワードによる継続・参入り活動などでも可能		
インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム G&Pターゲットとの関連性
南海電気鉄道の 2,373万円の 寄附 人と環境 215人参加	約2万人の森づく まじ 保全活動等 実施	森林CUVが 64,900m拡大 緑地の増大が 約2万本増加	推進活動で 緑地創成場の 一部に緑地し たこと、緑地 （自然共生サ イの設置）、4 人の市民等
※アクティビティやアウトプットはアクティビティとアウトプットの両方から選択でき、同じアワードに二つの項目を選択することはできません。			

環境省
Ministry of the Environment

Certification Number : 251-010

Certificate of Support for
"Nationally Certified Sustainably Managed Natural Sites"

Nankai Electric Railway Co.,Ltd.

Supported site
 Site name: The forest of "kyosei" in the sakai 7-3 district
 Site location: Sakai City, Osaka Prefecture
 Management Authority: Osaka Prefecture
 Activity types: ☒ Maintenance ☐ Restoration ☐ Creation

Support content
 Number of support : 1
**In the case of multiple support, the second and subsequent pages should be listed.*

Support Activities
 Consistency Forest Creation Activities (Planting approximately 20,000 trees, conservation activities, planning and management, etc.)
 Human Support: Donated 423.71 million to Osaka Prefecture's "Osaka Green Fund" (Consistency Forest Creation Fund)
 Human support : Participated in tree planting and underbrush clearing activities at Osaka Prefecture's "The forest of "kyosei" in the sakai 7-3 district". Total: 235 person-days
 Approximately 20,000 trees planted and conservation activities carried out

Activities
 Date of Support (Period)

Input	Activity	Output	Outcome	Relation to UEP Targets
Situation of # 23.73 million from Nankai Electric Railway Human resources support 235 person-days	Approximately 20,000 trees planted and underbrush clearing activities implemented	Forest area expanded by approximately 20,000 trees added to the forest	Part of industrial waste fund spent after site was reforested Contributing to the SDGs No. 12, and 8 of supported site	Contribution to GEF Targets 4, 2, 2

** The numbers are not guaranteed to be as described.*

(参考)環境省ホームページ「自然共生サイトに係る支援証明書の発行について」報道発表 https://www.env.go.jp/press/press_01652.html

共生の森の概要

共生の森は、大阪府が大阪湾ベイエリアの海を埋め立てた産業廃棄物最終処分場の一部で、府民や企業と共に森づくりを進めています。

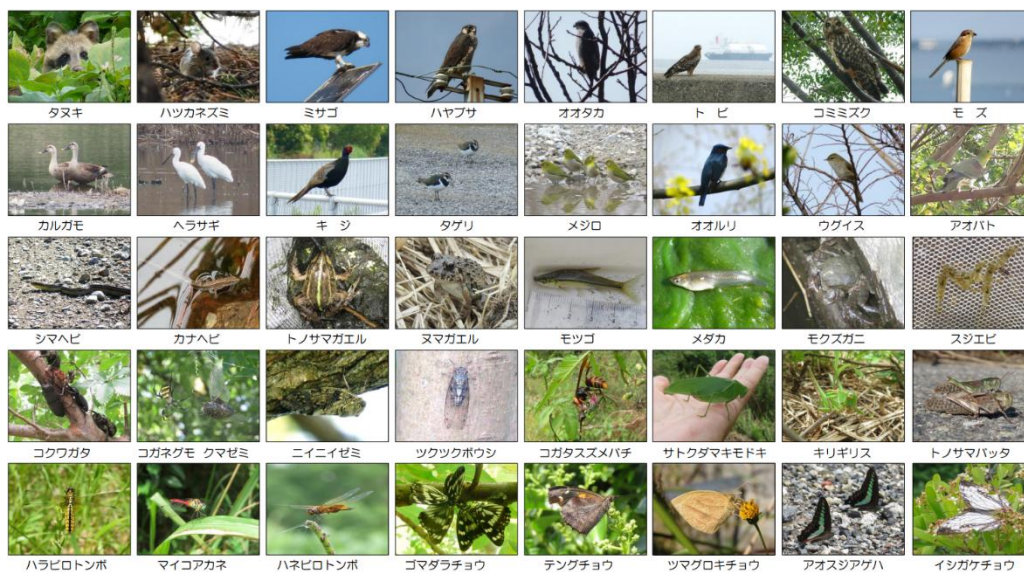
共生の森には、一千種を超える数多くの動植物が生息し、オオタカ・チョウヒ・コミミズクなど約20種の希少種が確認されています。共生の森は、長年の保全活動が認められ、2024年10月に環境省から自然共生サイトに認定されました。



出典：大阪府 HP 共生の森(空中写真)

<https://www.pref.osaka.lg.jp/0120030/midori/midori/kyousei.html>

▼共生の森で見られる生き物



出典：大阪府 HP 「共生の森の生物多様性」

https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/20302/kyouseinomori_seibututayousei_3.pdf

多奈川ビオトープの概要

多奈川ビオトープ（大阪府泉南郡岬町 23,900㎡）は、関西国際空港第二期事業の埋立て土砂の採取跡地です。当社の多奈川ビオトープの活動は、2008年度に当社寄付によるシンボルツリーの植樹に始まり、共生の森と同じく2009年に大阪府と締結した「グリーンパートナー協定」に基づいて保全活動を実施しています。2014年には、当社と大阪府・岬町・大阪府立環境農林水産総合研究所の4者で、「おおさか生物多様性パートナー協定」を締結し、協働で自然再生活動を行ってきました。

上記4者と、自然観察会やモニタリングなどを担う日本ビオトープ管理士会 近畿支部の計5者による活動が、2025年9月に地域生物多様性増進法に基づく自然共生サイトとして認定されました。



多奈川ビオトープ空中写真



自然共生サイト認定盾



自然共生サイト認定証

当社のその他の生物多様性保全の取り組み

当社は、「環境理念」を2004年に制定し、「地球環境保全」を企業の使命の1つと認識し、自然環境にやさしい社会づくりに向けて行動しています。

1. なんばパークス（パークスガーデン）

パークスガーデンは、大阪なんばの複合商業施設「なんばパークス」のグランドレベルから地上9階まで段丘状に続く都市の屋上公園です。

約500種類10万株の豊富な植物とともに、季節の鳥類や昆虫が生育する都市のオアシスです。

多種多様な植物を常駐のガーデナーが365日管理し、農薬や化学肥料に頼らない「IPM管理(注4)」により、生態系の調和を保ちつつ残された生き物が繁殖できるよう取り組んでいます。剪定で出た枝や葉は粉碎機にかけてガーデン内の土壌に還すなど、廃棄物をできるだけゼロに近けるゼロエミッションにも力を入れています。

(注4) IPM管理（総合的有害生物管理）とは、病害虫の防除に際し、環境に優しい方法を優先し、農薬や化学肥料に頼らず手作業などの適切な手段を組み合わせで管理する手法のこと。

(参考)パークスガーデンHP <https://nambaparks.com/garden>



なんばパークス全景

2. なんかいの森

なんかいの森（奈良県十津川村 約5,200,000㎡）は、1977年頃からスギ・ヒノキの植林を開始し、以来、計画的な植林、施業（枝打ち・間伐）などを行っています。

適切な間伐を実施することで森を育て、森に年間1,300t（推定）のCO₂を吸収させ、地球温暖化防止に貢献しています。

また、ブナ林などの天然林を残すなど、CO₂の吸収だけでなく、防砂や水源保全、また生物多様性の保全などに貢献しています。



間伐ボランティア活動

当社は、「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の30by30目標（2030年までに国土の30%以上を自然環境エリアとして保全）のための「生物多様性のための30by30アライアンス」に参画しています。

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/index.html>



30by30

南海グループは、SDGsへの取り組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。

今回ご案内の取り組みは、11番・13番・14番・15番・17番に繋がるものです。



以上